

しんしろ助産所新聞

発行元
しんしろ助産所
H23年6月27日



また産みたくなるお産を目指して

開設から一年四カ月 二十一人の赤ちゃんが誕生

平成二十三年六月二十七日にオープンした公設の「しんしろ助産所」。現在一年四カ月が経過し、これまでに二十一人の赤ちゃんが誕生しました。

しんしろ助産所は、車で三十分程の距離にある聖隷三方原病院と連携し、出産（正常な分娩経験のある経産婦が対象）については同院内助産所「たんぽぽ」を利用するオープンシステムが最大の特徴です。

奥三河に産施設がない現状をふまえ、新城市がつくった助産所ですが、出産を扱う公設助産所は全国でも数えるほどしかなく珍しい存在です。開設から一年四か月を迎え、助産所の出産を振りかえりました。

オープンシステムでは、しんしろ助産所の助産師が、ご家族と一緒に産婦に付き添って聖隷三方原病院に行き、院内助産所たんぽぽで出産のお世話をします。病院内の助産所ならではの家庭的な出産ができ、異常には素早く対応できます。入院中は毎日、助産師が病院を訪問し、母子ケアに参加します。病院退院後も、産後療養をはじめ、母乳育児や赤ちゃんのお世話など、継続的にかかわり、産後2週間チェックも行っています。

『出産・産後を同じ助産師が関わるので安心できた』『家族皆で新しい生命の誕生の瞬間に立ち会えてうれしかった』『とても充実した達成感のある出産ができた』『出産後すぐに、もう一人産みたくなった』『母乳だけで育てることができてうれしい』...などお喜びの声も多数いただきました。

また、ヘビーマッサージや祖父母教室・思春期相談などの活動も行っており、小中学校の総合や保健の授業の一環として『いのちの授業』や、『子育て支援の催し』にも参加しています。子育ての気軽な相談所として、今後さまざまな活動を展開していきたいと思えます。



ほやほや赤ちゃん写真館



しんしろ助産所ブログ
「しんしろ助産所だより」

<http://shinshirojosanjo.dosugoi.net/>

ぜひご覧ください

開設から現在(H24年10月)までの、しんしろ助産所での出産状況

設楽町

23年度（H23年6月～）：1人
24年度（10月10日時点）：1人

新城市

23年度：5人
24年度：9人
（今後の出産予定数：5人）

奥三河以外

23年度：東京都：1人
24年度：岐阜市：1人
豊田市：1人
（今後の出産予定数：北名古屋市：1人
日進市：1人）



豊根村

豊根村
まだご利用はありません

東栄町

東栄町
23年度：0人
24年度：2人
（今後の出産予定数：0人）

聖隷三方原病院

23年度：しんしろ助産所が開設したH23年6月27日以降～H24年4月1日まで
24年度：H24年4月2日～10月31日時点
今後の出産予定数：H24年10月11日～H25年4月1日までの出産予定者の数